



地方独立行政法人青森県産業技術センター

あおもりの未来、技術でサポート

畜産研究所ニュース

第5号

2016.9.30

巻頭トピックス 【優福栄の後継種雄牛作出に向けて】

一卵性の雄双子で新たな検定法の開発にチャレンジ

当所では、本年2月に「割球分離法」という受精卵操作技術で、「優福栄」を父とする雄の一卵性双子の生産に成功しました。

双子のうち1頭目を「優青」(ゆうせい)、2頭目を「優蒼」(ゆうそう)と命名。去る9月20日から、「優青」を種雄候補牛、「優蒼」を肉質調査牛として「双子検定」を開始しました。この検定法の確立により、種雄牛の生産期間はこれまでの約半分(6年から3.5年)に短縮でき、種雄牛生産の大幅なスピードアップが期待できます。

今後は、さらに一卵性双子の生産に取り組むとともに、現行の検定方法と「双子検定」法の比較を行い、本検定法の実用化を目指していきます。

これからも、本県畜産の将来を明るくする技術開発に総力をあげて取り組んで参りますので、引き続き関係各位のご協力をお願いいたします。

畜産研究所長 石山 治



平成28年6月撮影



「優青」平成28年9月撮影

＜検定開始時＞
 209日齢 6.9か月
 体重235kg
 体高113cm
 (+1.34シグマ)
 胸囲141cm
 (+0.25シグマ)
 美点：発育、体伸、皮膚
 欠点：体幅、肋張り

＜双子のプロフィール＞

平成28年2月24日生 血統：「優福栄」×「安福久」×「平茂勝」
 名号：優青(ゆうせい)：種雄候補牛 生時体重：41kg
 優蒼(ゆうそう)：肉質調査牛 "：34kg

当所開発の「特別飼育の青森シャモロック」が六戸町からデビュー

平成27～28年度の2か年をかけ、当所が開発した「特別飼育の青森シャモロック」いわゆる「プレミアムな青森シャモロック」が本年7月以降、六戸町の生産組合から出荷され、町内の飲食店で提供されることになりました。

六戸町では独自ブランドとして「ザ・プレミアム#6（ナンバーシックス）」と命名。今後首都圏での販路拡大を目指すとのことです。

特別飼育は、雄のみが対象であり、特別な飼料を給与して通常より1か月長く飼育。この飼育法により**歯応え、旨味成分、健康に良い機能性成分がアップ**することが明らかとなっています。

去る7月26日には六戸町観光協会と六戸町シャモロック生産者組合の合同によるお披露目会が開催され、「ザ・プレミアム#6（ナンバーシックス）」の生体展示のほか、丸焼き等が関係者や報道機関に振る舞われました。

当所としては、今回の六戸町の実績により、今後の青森シャモロックの知名度向上や生産のすそ野拡大につながるものと期待しています。

なお、「特別飼育の青森シャモロック」の生産は、特産地鶏「青森シャモロック」指定農場の生産者の方であれば、六戸町以外の地域でも取り組み可能です。興味のある方は当所の中小家畜・シャモロック部までご相談下さい。

地鶏ファンのための

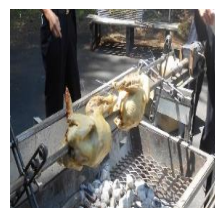
特別な青森シャモロック

青森シャモロック とは	特別飼育により味わい向上
青森県が開発した「青森シャモロック」は、「シャモ」と「横斑プリマスロック」の優れた肉質を合わせ持ち、モトーンの縞模様が美しい肉用鶏。 	【通常飼育】 ①横斑シャモ×速羽性横斑プリマスロックのF1 ②飼育期間 雄100日齢 雌120日齢 ③飼育密度 5羽/m² 【特別飼育】 ①選抜された雄 ②飼育期間 130日齢 ③飼育密度 3羽/m²（100日齢以降） ④特別な仕上げ飼料給与（同上）

特別飼育の青森シャモロックの特徴

旨味成分アップ グルタミン酸含有量 <table border="0"> <tr> <td><通常></td> <td><特別></td> </tr> <tr> <td>137 μg/g</td> <td>219 μg/g</td> </tr> </table>	<通常>	<特別>	137 μg/g	219 μg/g	機能性成分アップ α-リノレン酸含有量 <table border="0"> <tr> <td><通常></td> <td><特別></td> </tr> <tr> <td>0.07 mg/g</td> <td>0.18 mg/g</td> </tr> </table>	<通常>	<特別>	0.07 mg/g	0.18 mg/g
<通常>	<特別>								
137 μg/g	219 μg/g								
<通常>	<特別>								
0.07 mg/g	0.18 mg/g								
歯応えアップ せん断力値 <table border="0"> <tr> <td><通常></td> <td><特別></td> </tr> <tr> <td>1.6 kg/f</td> <td>2.2 kg/f</td> </tr> </table>	<通常>	<特別>	1.6 kg/f	2.2 kg/f	（地鶏） 青森県産業技術センター 畜産研究所 中小家畜・シャモロック部 上北郡野辺地町枇杷野51 電話：0175-64-2231				
<通常>	<特別>								
1.6 kg/f	2.2 kg/f								

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center 青森県産業技術センター



将来の酪農トップランナーを目指して～遠藤響子さんが研修中～

遠藤響子さんは今春県営農大畜産課程を卒業。現在、六力所村の農業支援員として地元酪農家を手伝う傍ら、6月からは当所の酪農飼料環境部で研修中です。

研修内容は乳牛の飼養管理だけでなく、技術研究の補助、先進地視察や後継者育成講座への参加など多岐にわたり、最新の知識や技術の習得に大変熱心に取り組んでいます。

酪農振興の期待の星として、一層の飛躍が期待されます。



ミルキングパーラーでの搾乳



県共進会での出品牛のリード

県共進会で県基幹種雄牛の娘牛がグランドチャンピオン獲得

去る9月1～2日にかけて開催された第13回県肉用牛共進会において、東通村 菊池秋男さん出品の「はなひら」号（第4区黒毛和種繁殖雌牛（経産の部））がグランドチャンピオンに輝きました。

本牛は体形・資質に優れるだけでなく、7才11か月で6産と繁殖成績も抜群で、分娩間隔賞を受賞しました。



さらに注目されるのは本牛の血統構成で、「第1花国」×「国栄97」×「第1花国」と、3代祖まで県基幹種雄牛で固定したものであり、育種価も優れていることから、当所では既に種雄候補牛造成のための採卵と移植を行っているところです。

今回の受賞に対して改めて敬意を表するとともに、当所としてはこうした県基幹種雄牛を活用した和牛改良に一層取り組んでいきます。

県基幹種雄牛「光茂」の肥育牛がBMS12を獲得

去る9月9日東京芝浦で開催された「あおもり和牛枝肉共励会（出品36頭）」で県基幹種雄牛「光茂」の産子がBMS12の成績で最優秀賞を獲得しました。

「光茂」は十和田市の沢目政光さんが生産され、平成25年2月に県基幹種雄牛に指定されました。

枝肉重量とバラの厚さに優れる点が特徴的であり、特に枝肉重量の育種価は、全国的に有名な民間の気高系種雄牛と同等の成績となっています。

本年度から現場での枝肉出荷が本格化しており、格付成績情報等を随時提供していきますので御期待ください。



＜最優秀賞牛の概要＞

- ・性別：去勢 ・血統：「光茂」×「安福久」×「平茂勝」 ・生後月齢28か月
- ・生体重：788kg ・枝肉重量541kg ・ロース芯面積88cm² ・格付A5
- ・脂肪交雑 **BMS No 12**

～来年度の宮城全共（和牛オリンピック）に向けて～

平成29年9月7日～11日に宮城県で開催される和牛の祭典「第11回全国和牛能力共進会」について、当所でも上位入賞に向け、改良組合等と連携して肥育牛の選抜や調教のアドバイス等を行っています。

宮城決戦での勝利を目指しオール青森で取り組みましょう！



青森県産業技術センターのシンボルマークは、工業、農林、水産の3分野で青森県を象り、英字略称（A I T C）を添えたものです。エネルギーから連想される赤が工業を、緑が農林業を、海の青が水産業を、それぞれ象徴しています。

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 畜産研究所

〒039-3156

上北郡野辺地町字枇杷野51

TEL 0175-64-2231

FAX 0175-64-2230

（和牛改良技術部）

〒038-2816

つがる市森田町森田月見野558

TEL 0173-26-3153

FAX 0173-26-3205

HP <http://www.aomori-itc.or.jp>

Youtube 公式チャンネル <http://www.youtube.com/user/aitcofficial>

畜産の技術について何かありましたらお気軽にご相談してください。